

4.スペシャル・セッション

S-1 若者が作りたいたいジェンダー平等社会とは～現状と課題～

日時：2016年12月14日（11:15～12:45）
場所：グランドプリンスホテル新高輪3F「慶雲」

「ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女の子のエンパワーメントを行う」という持続可能な開発目標（SDGs）5にフォーカスを当て、目標達成のために取り組んでいる活動にはどのようなものがあるかを発表し、また、若者が考えるジェンダー平等社会を実現するためにどのような役割を担えるのかについて議論が行われました。

各パネリストの報告では、ユースの視点を入れたジェンダー平等について、国際NPOユース・グループのイベント等を通じて学生に周知活動を行ったり、ユースサミットの議題のほぼ全てにジェンダーへの配慮が入り、国際的な場では男女平等が確立された価値観となっていることを発信したり、労働・子育て両立に不安を持つ学生に子育てを体験する家庭訪問を提供して自分の将来像を思い描くことをサポートしたことが挙げられました。また、性暴力に関する刑法改正の取組、行き場のない女子の支援、女性議員を増やす活動等についても報告がありました。それぞれの経験から導き出された共通の課題としては、ジェンダー平等や女性・女の子のエンパワーメントについて男性の当事者意識が低いこと、法律や社会政策にジェンダーの視点が組み込まれていないこと、政策決定過程に若者が関与できる仕組みがないこと等が挙げられました。加えて、17歳までは児童福祉法の対象となるが18歳からその支援から外され、法の狭間にいる年齢の女性は未成年であり単独で住居を借りることもできず、経済的自立を可能にする生活スキルも十分でないまま社会に出されると、男性に比べて性的搾取などハイリスクの状況におかれるという、「女性の若者」の制度的課題が、行き場のない女子の事例から指摘されました。

これまでの活動と課題を踏まえて、どのように現状を変えていきたいかという問いに対して、男性がジェンダー平等に当事者意識を持つこと、様々な生き方を提示して自らの人生を選べる社会にすること、証拠や論理性を過度に尊重するのではなく日常の倫理観に沿った法律に改善していくこと等が挙げられました。最後に、若者からの提言がユース宣言として、以下のように取りまとめられました。

- <ユース> 女性だけでなく、男性も共にジェンダー平等社会に貢献しましょう。
<政 府> ①ユースの声を実質的かつ恒常的に政策に反映する仕組みを作ってください。
②ジェンダーに基づいた差別的な法律を撤廃してください。



参加者による議論の様子



加藤勝信女性活躍担当大臣
内閣府特命担当大臣
(男女共同参画)

コンセプト・ノート（現状・課題）

2015年9月、国際社会は「持続可能な開発目標」（以下、SDGs）を採択。本年のWAW!はSDGsが採択されてから初の開催となる。SDGsでは、目指す世界像として、全ての女性と女の子が完全なジェンダー平等を享受し、その能力強化を阻む法的、社会的、経済的な障害が取り除かれる世界を掲げ、ジェンダー平等の実現と女性・女の子の能力強化は、全ての目標とターゲットにおける進展において死活的に重要な貢献をするものであると宣言している。しかし、世界で完全にジェンダー平等を達成した国は存在しない。途上国ではいまだに、女性や女の子が教育や保健といった基本的な人権へのアクセスが保障されていない。日本においても、世界経済フォーラムが公表した「グローバル・ジェンダー・ギャップ指数」（2016年度）において、144カ国中111位となっており、特に「政治」及び「経済」の分野において、ジェンダー平等に取り組む課題は山積している。

一方、ジェンダーの固定観念を覆し、男女の役割意識を変える取り組みも若者世代を中心に広がりつつある。今日の世界は、史上最大の若者世代を抱えており、目標達成のためには、未来を担う若者のエンパワーメントが欠かせない。世代によって変化する男女の役割意識をどのように捉え、若者が考えるジェンダー平等が実現したら、社会はどのように変わるのか。

本セッションでは、特にSDGsの目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女の子の能力強化を行う」にフォーカスを当て、目標達成のために、若者がどのようなアドボカシー活動（政策提言、啓発）を進め、また、どう意思決定に参画できるのか、実現の妨げとなっている課題についても認識し、解決のための議論を行う。様々なバックグラウンドや経験を持つ若者が集まり、グローバルの視点、若者ならではの革新的な視点を共有し、社会に示す。



加藤大臣を交えた議論の様子

【参加者】（順不同・敬称略）
城谷尚子／淵上貴史／山本朱音／新居日南恵／大崎一磨／竹下奈都子／戸谷知尋

※参加者一覧はpp.28-29参照